

フルブライト・メモリアル基金米国教育者招聘事業大村市グループ一行が学長を表敬訪問



学長表敬訪問の一幕



教育学部教員との意見交換



学生との交流

6月19日(月), 米国の小・中・高等学校の教師ら20名が齋藤学長を表敬訪問しました。

フルブライト・メモリアル基金が1997(平成9)年から毎年, 米国の教育者を招聘しているもので, 今回は6月13日(火)から6月29日(木)までの日程で200人が来日し, うち20人が大村市を中心に研修を行いました。この事業による来学は一昨年11月以来で, この5年間で4回目になります。

齋藤学長の歓迎挨拶, 一行を代表してマイヤ・ハーパー氏の挨拶後, 片峰理事及び橋本教育学部長を交え, 日米の教育事情等について, 意見交換を行いました。

引き続いて教育学部に会場を移し, 教育学部教員及び学生約70名との意見交換会が教育工学実験教室(SCS教室)で行われました。

最初に日米双方の教育者の自己紹介と学生による演奏と歌唱が催され, 続いて橋本教育学部長から教員養成の現状等について説明の後, 教育実習や免許制度等について, 活発な意見交換が行われました。

後半は, 学生とのフリー・ディスカッションが行われ, 教育現場の現状等について質疑応答があり, 和やかな中にも充実した時間を過ごしました。

(研究国際部学術国際課・教育学部)